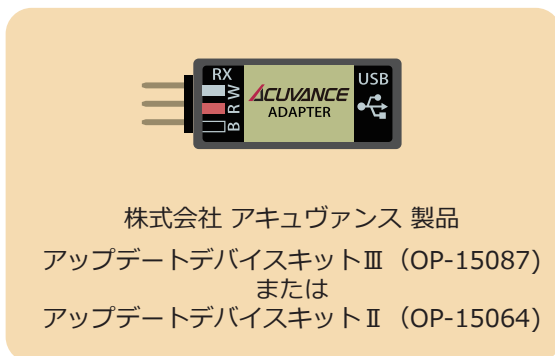
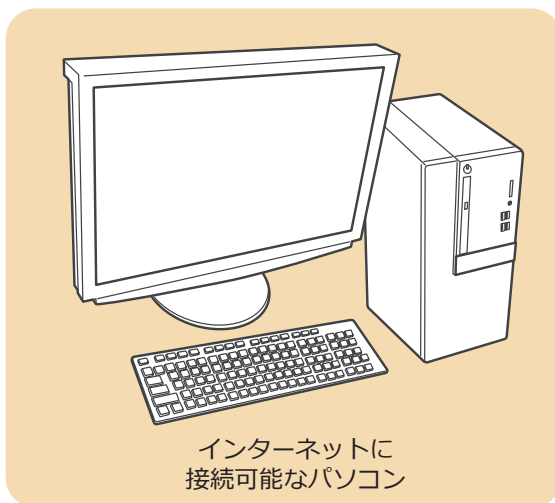


MC971CR ソフトウェアアップデート方法

MC971CR は Futaba WEB サイト <http://www.futaba.co.jp/> からデータをダウンロードして最新のソフトへ更新することができます。

必要なもの



アップデートの方法

1. ファーム書き換えツールを ACUVANCE ホームページよりお持ちの PC にダウンロードします。

<https://acuvance.co.jp/software/>

2. アップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

<https://www.rc.futaba.co.jp/support/software>

3. PC にアップデートデバイスキットⅡまたはⅢ（アキュヴァンス製品）と MC971CR を接続して次ページからの手順で MC971CR をアップデートしてください。



1. ACUVANCE ファーム書き換えツール（共通版）インストール方法

書き換えツールおよびファームウェアのダウンロードファイルは全て ZIP 形式で圧縮されており、Lhaplus 等のアーカイブソフト（無料）を PC にインストールの上、ダウンロードファイルを展開（解凍）してください。

本書では主に Windows 10 にて Microsoft Edge ブラウザを使用した場合の画面を表示しています（お使いの PC 環境により表示や言が本書と異なる場合があります）

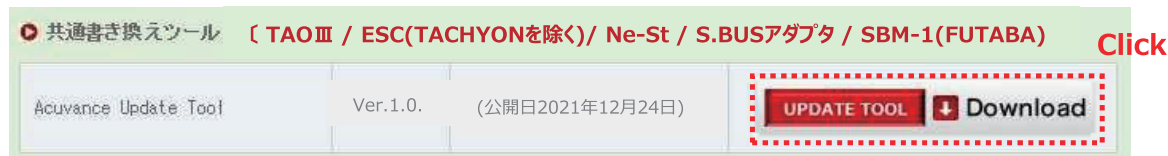
はじめに

- ①本ソフトウェアの著作権は、株式会社アキュヴァンスに帰属します。
- ②賠償責任について、本ソフトウェアご使用時にデータの消失を含むいかなる偶発的・結果的・間接的な損害（PC 破損を含む）において、弊社では一切責任を負いかねます。
- ③本ソフトウェアは Futaba/ アキュヴァンスブラシレスシステム専用のアップデートツールです。他社製品との互換性はありません。
- ④本製品は、Windows 専用アプリケーションです。
（対応 OS）Windows XP/Vista/7/8/8.1/10/11 の 32bit/64bit

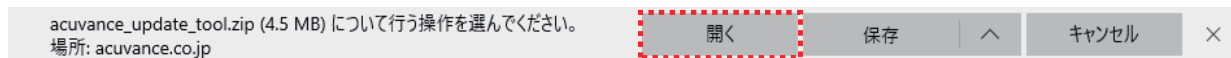
インストール方法

I アキュヴァンスホームページより書き換えツールセットアップファイルをダウンロードします

- I - ① アキュヴァンスホームページより共通書き換えツールのダウンロードボタンをクリックします。（ダウンロードは無償です）



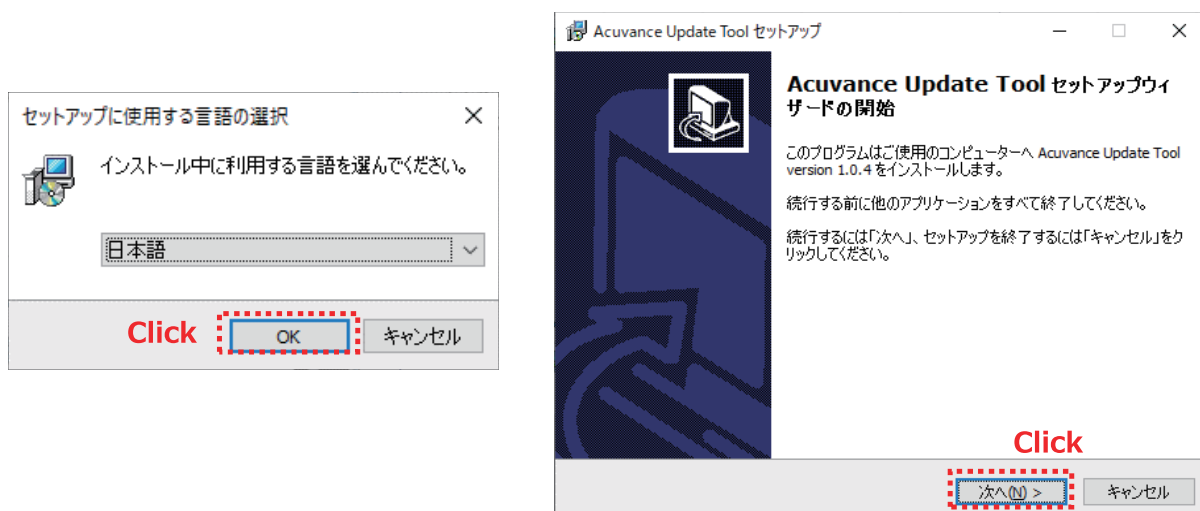
- I - ② "開く" をクリックします。

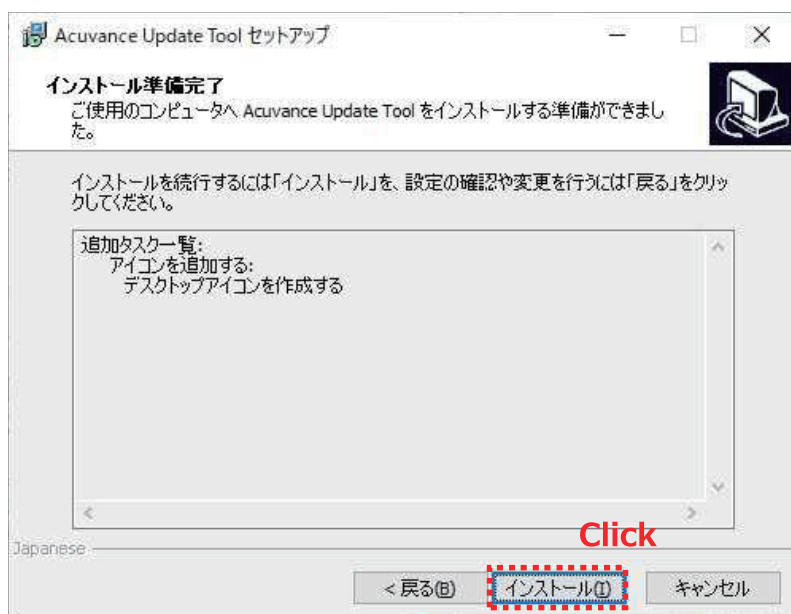
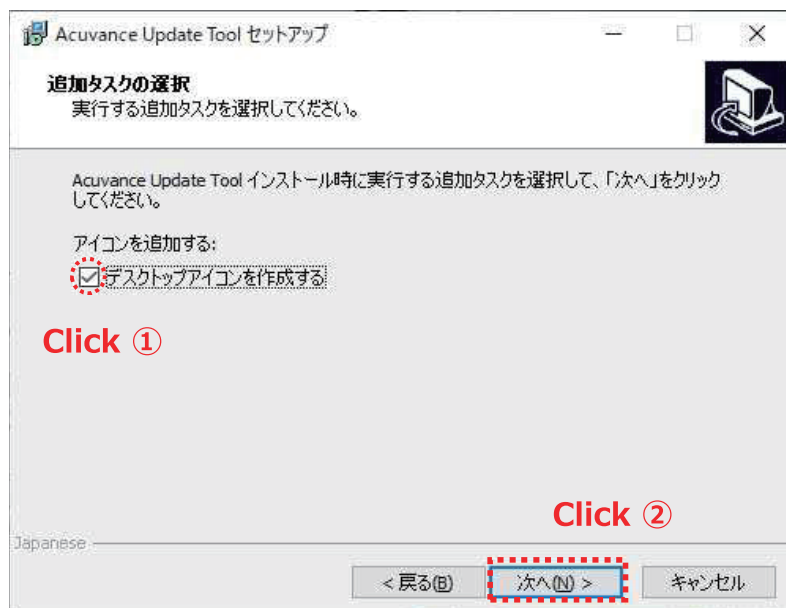


- I - ③ 開かれたフォルダに [Acuvance Update Tool 〇.〇.〇.exe] があれば、セットアップファイルのダウンロードは完了です。引き続き、インストール作業を行います。

II 書き換えツールを PC へインストールします

- II - ① I - ③でダウンロードした [Acuvance Update Tool 〇.〇.〇.exe] をダブルクリックします。
- II - ② [ユーザーアカウント制御] ウィンドウにて「次の不明な発行元からのプログラムにコンピューターへの変更を許可しますか？」と表示された場合は、「はい」をクリックします。
ウィンドウが表示されなかった場合は、II - ③へ進みます。
- II - ③ セットアップ画面に従って下図赤枠ボタンを順次クリックし、インストール作業を行います。







既にドライバがインストールされている場合はこのような画面が表示されます。



以上で共通書き換えツールのインストールは完了です。

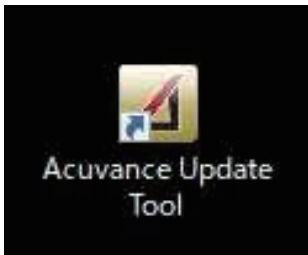


← デスクトップにこのアイコンが作成されます。

2. Futaba MC971CR のアップデート方法

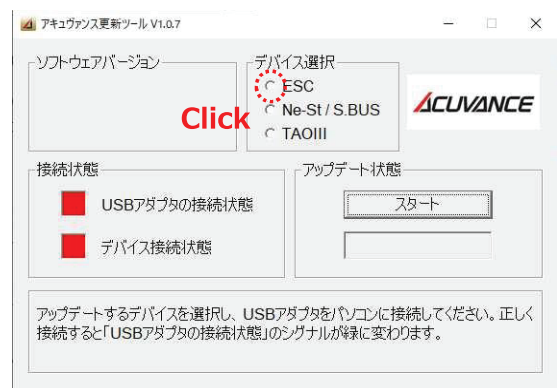
準備

I PCがUSBアダプター（OP-15087 または OP-15064）を認識するか確認します

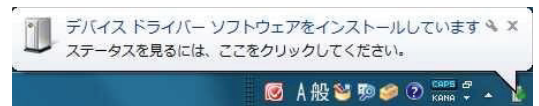
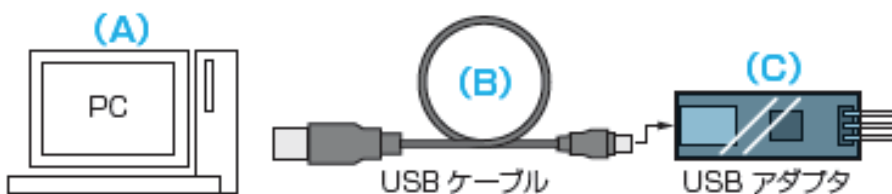


I - ① 共通書き換えツールのアイコンをダブルクリックし、書き換えツールを起動します。

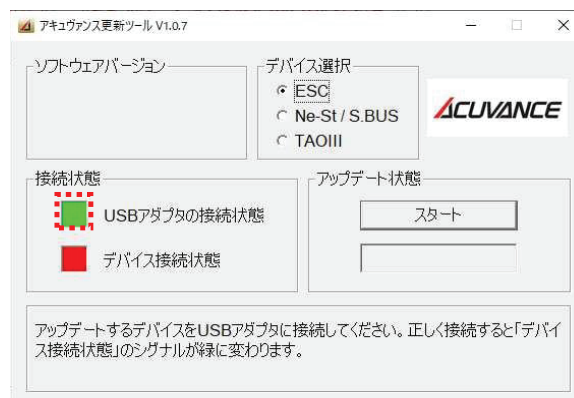
I - ② デバイス選択にて、ESC を選択（クリック）します。



I - ③ アキュヴァンスアップデートデバイスキットのUSBケーブル（B）を使用し、PC（A）とUSBアダプタ（C）を接続します。USBアダプタを初めてPCに接続したときのみ、デバイスドライバソフトウェアのインストールメッセージが画面右下に表示されます。



I - ④ “USBアダプタ接続状態” が赤から緑に切替われば、PCが正常にUSBアダプタを認識しています。

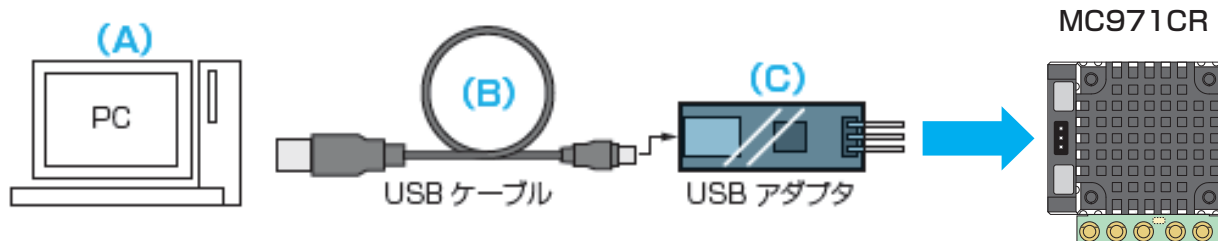


MC971CR をアップデートする

II MC971CR をアップデートします

アップデートの際は必ず MC971CR からバッテリーを外してください！

- II - ① I - ④の状態からアップデートを始めます。まずは、USB アダプタ (C) と MC971CR の LINK 端子を、RX ケーブル (MC971CR に付属) で接続します。

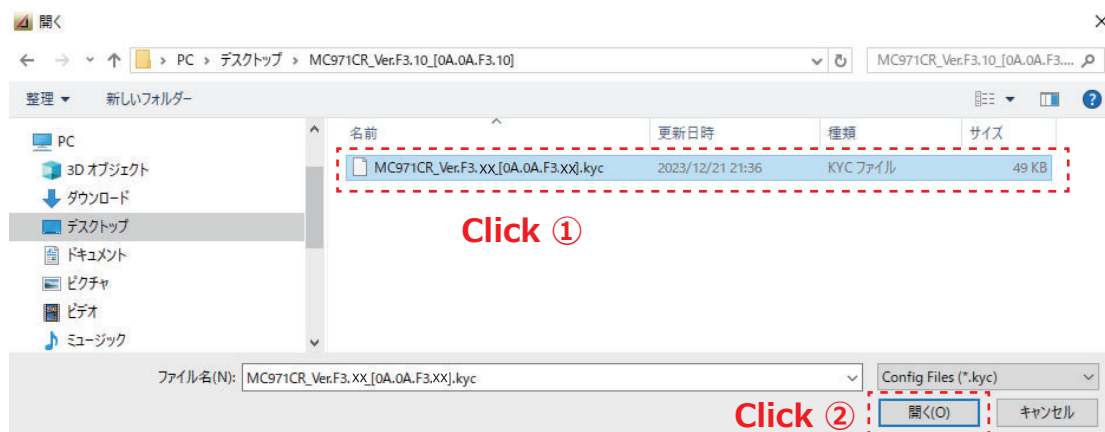


- II - ② MC971CRを接続し、PCがMC971CRを正常に認識すると、“ソフトウェアバージョン”に現在MC971CRにインストールされているファームウェアが表示され、“デバイス接続状態”が赤から緑に切り替わります。(切り替わらない場合は、切り替わるまでRXケーブルの抜き差しを繰り返してください。)

その後 “スタート” をクリックします。



- II - ③ ダウンロードした MC971CR のファームウェアをクリックして選択した状態にし、“開く” をクリックします。



II - ④ アップデートが始まり、パーセンテージのカウント UP がスタートします。



II - ⑤ 100 パーセントに達すると、ソフトウェアバージョン表示が更新されます。これで MC971CR のアップデートは完了です。



【ご注意】

- ①アップデートにより、MC971CR内のセッティングデータはリセットされます。
予めメモをとっていただくことをお勧めいたします。
- ②アップデート完了後に初めてご使用いただく際は、スロットルポジションの初期設定（ESC取扱説明書 P.8）を“2回”実施してください（送信機の設定状態によっては、アップデート直後に限り、1回の初期設定ではニュートラル位置を正常にメモリしない場合があるため）。
- ③スロットルポジションの初期設定が完了していないと、送信機とのMCリンクが正常に機能しない場合があります。
- ④スロットルポジションの初期設定を2回実施してもMCリンクが機能しない（セッティングデータを送信機にて読み込むことができない）場合は、ESCモードにてプリセットプログラム“ドリフト”をロード（ESC取扱説明書 P.14 参照）してからご使用下さい。
- ⑤MC971CR Ver.F3.10～とT10PXを使用する場合はT10PXもVer.10.0～にバージョンアップしてからご使用下さい。
- ⑥T10PX(V9.0以前)またはT7PXシリーズ(V12.0以前)/T4PM/T4PM PlusはVer.F3.10～における設定範囲拡張部分は未対応となります。
T10PX(V9.0以前)またはT7PXシリーズ(V12.0以前)ではESC内の設定値に拡張した値が含まれている場合、送信機にて設定を読み込む際にエラーになります。
また、T4PM/T4PM PlusではESC内の設定値に拡張した値が含まれている場合、読み込みは出来ませんが正しく表示されません。
ESC内の設定値に拡張した値が含まれていない場合は、従来通り送信機でのセッティング変更が可能です。

Ver.F3.11 アップデート内容

送信機のMCリンクにて、ESCのデータを読み込み後に送信機に表示される「リセット」コマンドを実行すると、MCリンクが機能しなくなる不具合を修正いたしました。

Ver.F3.10 アップデート内容

[ドライブ周波数]

従来の 1 ~ 16kHz (1kHz ステップ) ・ 18 ~ 32kHz (2kHz ステップ) に加え、35 ・ 38 ・ 42 ・ 48 ・ 55 ・ 64kHz を追加

⇒高周波に設定することで、よりリニア感のあるきめ細かなスロットルワークが可能となります。

[ターボタイミング]

従来の 0 ~ 30° (1°ステップ) に加え、31 ~ 60° (1°ステップ) を追加

⇒最高回転数をさらに上昇させることが可能となります。

※極端に高い値に設定された場合、ギヤ比やターン数、路面グリップ状況等によっては ESC やモーターに過大な負荷がかかる場合がありますので、モーターや ESC の発熱状態をみながら徐々に数値を上げてください。

[ターボオンスロープ]

従来の 1 ~ 25deg/0.1sec (1deg/0.1sec ステップ) に加え、26 ~ 50deg/0.1sec (1deg/0.1sec ステップ) を追加

⇒数値を上げることで最高回転数に到達するまでの時間が短縮され、よりクイックな回転上昇となります。

[ターボオフスロープ]

従来の 1 ~ 25deg/0.1sec (1deg/0.1sec ステップ) に加え、26 ~ 50deg/0.1sec (1deg/0.1sec ステップ) を追加

⇒数値を上げることでターボ作動状態から復帰するまでの時間が短縮され、よりクイックな回転落ちとなります。